

ガウディア新聞

子どもに伝えたい、生きる力

2022年4月1日から成年年齢が18歳になりました

民法の改正により約140年ぶりに成年の定義が見直されました。これにより18歳で保護者の同意を得なくても自分の意思で様々な契約ができるようになりました。例えば携帯電話を購入したり、クレジットカードを作ったり。

できることが増える一方で、行動に対しての責任も伴います。私はこのニュースを見て「18歳までに自分で生きる力」をつけてあげなければと考えました。毎日バタバタと忙しく過ごしていると、目の前のことで精いっぱいなかなか先のことを考える余裕が無いですね。でも親はいつまでも子どものお世話をし続けてあげることはできません。

私は子育てのゴールは、子どもが社会に出た時に自分で生活していける力をつけてあげることだと思います。そこで今日は、「自分で生きる力」の1つとして、お片づけ習慣化コンサルタントの西崎彩智さんに簡単にできる「お片づけ」の3つのステップを教えてくださいました。

ライターは、ガウディア本部
ママ社員さかぐちです。
現在3人の子育て中♪
中3男子、小3女子、
年長女子



「お片づけは生きる力を養います」

お片づけは好きですか？お片づけを通じて、子どもが生きる上で大切な3つの力を学ぶことができます。

決断力

何を残して何を手放すか決断する力、
手にしたものを大切にする力

段取り力

片付けされた状態から逆算して
物事を考えていく力

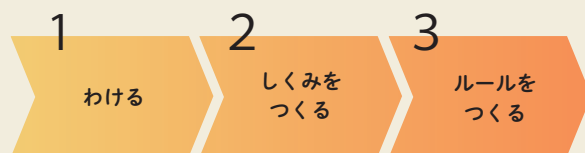
モノを大切に する力

自分が手にしたものを大切にする力

この3つの力がついていくと、社会に出てから仕事に活かすことができます。
お片づけは難しいことではありません。まずは3つのステップから始めてみましょう。

3steps!!

お片づけの3ステップ



1

わける

- ・「使うもの」と「使わないもの」で分けてみましょう
- ・わからないものはまとめて箱に入れて後で考えましょう

モノをわける

- 使っている
- 使っていない
- ときどき使う
- わからない



2

しくみをつくる

- ・ものにも帰るお家を作ってあげましょう
- ・「文房具のお家」「お人形のお家」など決めましょう
- ・よく使うお家は取りやすい場所に置きましょう



3

ルールをつくる

- ・「寝る前に5分片づける」など家族で決めましょう
- ・ルールは多くせず3つ~5つにし、紙に書いていつでも確認できるようにしましょう



株式会社 Homeport 代表取締役
お片づけ習慣化コンサルタント

西崎 彩智

Nishizaki Sachi

プロフィール
1967年生まれ、岡山県出身。
“ママだけが頑張らない”が合言葉のお片づけ習慣化強化講座「家庭力アッププロジェクト®」修了生は全国で約1200名を上回る。現在、AERA.dot連載コラム「片づけと人生の before/after」、ラジオ大阪「西崎彩智の家庭力アッププロジェクト®」やSNS、ブログ等で情報発信中。

片づけは一生しなければいけないことです。だからこそ、お子さまには片づけは楽しいものだと思ってもらいたいです。片付いた状態の写真を貼っておくなどゴールを共有して、家族全員で楽しんでお片づけをしてみてください。



子育てのゴールを18歳だとすると、みなさまの子育てはあと何年でしょうか？
日々怒ってしまっただけなのに、ゴールを考えたら途端に寂しくなっていました(笑) それまでに「自分で生きる力」を身につけてあげられるよう、日々の子育てに励みましょう。私もがんばります♪